

令和2年5月1日
中部地方整備局
新丸山ダム工事事務所

災害に備えて「現地情報連絡員(リエゾン)の派遣」を準備
～ 国土交通省職員が八百津町、御嵩町の災害対応の橋渡し役に ～

国土交通省では自然災害による減災に向け、市町村(八百津町、御嵩町)の災害対応をお手伝いするため、現地情報連絡員(リエゾン)を速やかに派遣するよう準備をしています。

洪水や土砂災害、大規模地震等により、八百津町、御嵩町に災害対策本部が設置された際など、国土交通省職員がいち早く駆けつけ、災害対応のお手伝いをします。

地域住民の生命、財産を守るため、被災した市町村が大規模災害時に速やかに、かつ、効率的に災害対応ができるよう、国土交通省(新丸山ダム工事事務所)職員が八百津町、御嵩町の災害対策本部にいち早く駆けつけ、災害対応のお手伝いをします。

現地情報連絡員(リエゾン)の主な役割は以下のとおりです。

- ・派遣先の市町村の被災情報の収集を行います。
- ・被災した市町村からの支援ニーズを聞き取り、中部地方整備局の災害対策本部へ伝達し、必要な支援を実施します。
- ・中部地方整備局が所有する災害対策資機材、災害対策車両(排水ポンプ車、照明車、衛星通信車など)、緊急災害対策派遣隊(通称テックフォース; TEC-FORCE)の派遣の調整等を行います。

リエゾンとは、フランス語で「連絡」などといった意味です。現地情報連絡員(リエゾン)は、災害対応に忙殺される市町村職員に迷惑をかけないように、自らの食事や宿泊場所の手配、現場への移動等については、全て自らで対応することとしています。

- 解 禁 指定なし
- 配布先 美濃加茂市政記者クラブ 可児記者クラブ
- 問い合わせ先 国土交通省 中部地方整備局 新丸山ダム工事事務所
副所長(技術) 折戸 充
調査課長 馬場 浩彰
電話 0574-43-2780(代表)